

C グループ IN 水沢区
福祉系

公共施設視察状況

○老人保健施設ハイム・ベルク ○美山病院
○特別養護老人ホームいこいの森

○ケアハウス水沢

○通所授産施設ワーク水沢（姉妹町）

水沢区の老人福祉施設は法人経営が主ですが、病院と老健施設が羽田町の高台に複合的に配置されており、全国的にみても珍しいとのこと。緑の山に囲まれ、胆沢平野を一望でき、山の中でも病院経営が成り立つとのこと、快適な施設で療養と介護施設が整備されています。

行政執行状況等説明及び懇談会

児童センターは定員の超過で、現在は民間の幼稚園三施設に試行委託しています。また保育所待機児童の解消に取り組んでいます。他の区からの通勤保護者から、保育要望が殺到し、早期に、いずみ保育園の新築を検討することとしています。

敬老会の招待者は77才からですが、水沢・南・常盤地区は収容能力が限界で、課題となっています。

保健福祉市民センターの整備については、放課後児童クラブの機能を備えた施設に変更するとしています。

公共的団体等との懇談会

○社会福祉協議会水沢支所：一人暮らし老人との、話相手、買い物、食配サービス、集会所等での遊びを通しての励ましなど、隣近所、民生委員等の協力を得て活動しています。

○保健推進委員協議会：健康講座等の開催や、市からの検診通知の配布と呼びかけ、高齢者への食品改善推進運動等を行っています。個人情報保護の関係で個人通知内容が解らず指導が困難、財源不足で活動が制限されています。

○岩手県母子寡婦福祉協議会水沢支部：母子・父子家庭で登録制で、子供の預かり事業をしており、自由に入会でき、費用は県から支出、受入も資格のあった方に預かってもらう自慢できる事業、江刺区にも働きかけたいとしている。

○水沢ボランティアネットワーク：水沢区には二十五団体1000人以上の会員が活動していますが、水沢区以外には行政から助成を受け、全市的に活動を願っていますが、他の地区は市からの助成があるうちは合併をしないと言われています。

○民生児童委員会協議会：今年で90周年ですが、大変幅の広い仕事で、若い母の悩みから認知症者・幼児・お年寄り迄の対応で行政との連絡情報が課題となっています。

○社団法人水沢医師会：この医師会は旧胆沢郡と水沢の150名の会員ですが、来年は江刺区と合併する。胆沢病院の産婦人科については、各医師の対応は困難、先が見えない状況で、緊急小児科の診療開始のように市民・行政・医師会と一体となったものが、必要だとしています。

D グループ IN 江刺区
産業系

公共施設視察状況

○岩手江刺農業協同組合「キャトルセンター」

○東北横断自動車道「釜石秋田線」江刺田瀬IC（仮称）

○江刺開発振興株式会社「種山高原 星座の森」

江刺区は稲作・肉用牛・りんご・野菜を基幹作物とした複合経営で、流通市場において高品質なブランドとして高い評価を受けております。キャトルセンターは、高齢化・後継者不足が進む中、生産者の労力軽減、生産コスト低減を図るため母牛、子牛を預かり管理育成に取り組んでおります。

行政執行状況等説明及び懇談会

○農業振興：集落営農の推進と担い手の育成、農業生産基盤の整備と充実、農畜産物の生産拡大と流通対策、環境保全型農業の推進、活力ある農村の形成、更には畜産、林業、国土調査等。

○商工振興：商工業振興及び就職支援・雇用対策業務等。

○観光・物産振興：観光振興、物産振興、江刺甚句まつり、指定管理者制度導入施設、ロケ対策各種観光イベント支援等行政と市民との協同活動が地域活力をもたらしていると感じました。

○公共的団体等との懇談会
江刺観光物産協会：観光協会と物産協会が一緒になり、卵、羊かん、タンスが主な物産となっている。

○江刺商工会議所：前沢商工会が単独を決めたが、今後も話し合いを進めて行く。東北横断自動車道の連結道路の整備促進、平泉の世界遺産登録に伴う観光促進等について話された。

○岩手江刺農業協同組合：高齢化、後継者不足の現状、JAとしてキャトルセンターを立ち上げること。江刺牛としてのブランド登録しており、22年度を目途に4千頭にしたい。

○江刺区認定農業者協議会：担い手を確保しながら集落営農を進めていく状況にあるが、個人が衰退しており、個人の力をつけていくことが課題とのこと。

キャトルセンター



キャトルセンター

E グループ IN 前沢区
建設・まちづくり系

公共施設視察状況

○大袋養蚕団地跡：オートメーション化された養蚕団地三団地構想で、多回育養蚕事業に取組む。計画そのものが実態に合わず失敗。一部養豚場に変え取り組むが、豚価がさがり赤字となり廃場。

○ニューアスティ前沢：59区画分譲予定すでに33区画売却済み。

○駅東開発：今年度の返済が迫られている。取得価格2億1340万円。

○牛の博物館：市内では博物館として登録されている唯一の施設。

行政執行状況等説明及び懇談会

大袋養蚕団地跡の土地取得を始め、多くの土地を取得しなければならぬ流れになっており、たいへん苦慮している。そういう中、統合小学校など、ルール内・外の財政を当て五六億八千万ほどの事業費を計上していただいている。大袋養蚕団地跡については、農業振興地域内であり、その除外が必要であり、取得そのものに大きな障害がある。たいへん頭をいためている。場合によっては、新たな投資が必要になることも考えられる。

○公共的団体等との懇談会
○前沢建設業協会：公共工事削減の中きびしい状況。早期発注を常々要望している。各区ごとの指名をお願いしている。現在の事業高を確保して欲しい。

○北上川東部土地改良区：山間地ということで、どうしても事業費がかかる。平坦地二〜三倍かかっているため、組合員の負担もたいへん。

○大曲の水辺に夢をつくらう会：トップダウン式の地域づくりは終わりで、自立する地域づくりだと思いが、手段・手法がわからない。学校単位の地域づくりを考えていくことが必要。

大袋養蚕団地跡地



大袋養蚕団地跡地